



感染性胃腸炎に注意
手をよく洗いましょう!

感染症発生動向速報

(令和5年第47週分・11月20日～11月26日)

《インフォメーション》

●**感染性胃腸炎**

今週、県内の小児科定点医療機関からの感染性胃腸炎の報告数は4.10人/定点となりました(図参照)。先週(5.69)から減少した一方、例年冬季に患者報告数が増加する傾向があり、今後の感染拡大に注意が必要です。

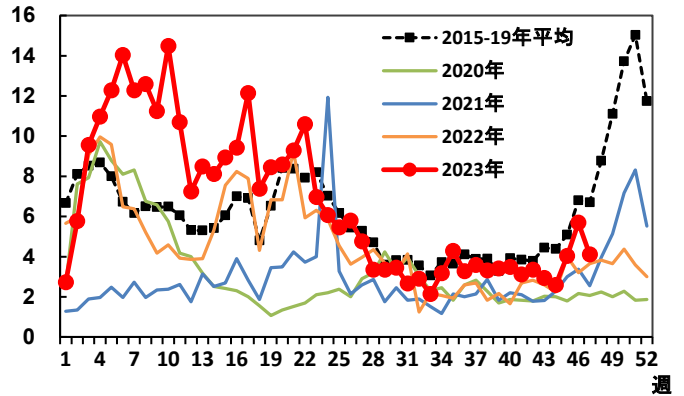
感染性胃腸炎は、ウイルスまたは細菌などの病原体による下痢、おう吐を主症状とする感染症の総称です。原因はウイルス感染(ノロウイルス、サポウイルス等)が多くを占めます。冬季には一般にノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒が増える傾向があります。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、小児では主に汚染された糞便や吐物から人の手などを介した接触感染や、比較的狭い空間等での飛沫・塵埃感染によって広がります。ノロウイルスは感染後24～48時間の潜伏期を経て、吐き気・おう吐・下痢・腹痛等を引き起こします。抗ウイルス薬やワクチンはないため、対症療法が中心になります。また、ノロウイルスの排出は症状の消失後も数週間ほど続きます。ノロウイルスは感染性が強く、アルコール消毒が効きません。汚染された糞便や吐物、患者が使用したものなどは塩素系消毒剤等を用いて消毒する必要があります。

次のことに注意してノロウイルスによる感染を予防しましょう。

- 食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗う。
- 糞便や吐物は、マスク・手袋を着用したうえで、塩素系消毒剤等を用いて処理する。
- 加熱が必要な食品はしっかり加熱(中心部が85℃～90℃で90秒以上)して食べる。
- 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしない。

人/定点 感染性胃腸炎患者報告状況(富山県)



《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 1件(10歳代、男性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2件 (①20歳代、女性、O26、VT1
②30歳代、男性、O157、VT2)
- 四類感染症 レジオネラ症 4件 (①第45週診断分：90歳代、男性、肺炎型
②80歳代、男性、肺炎型 ③80歳代、女性、ポンティアック熱型
④90歳代、女性、肺炎型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1件(70歳代、男性)
侵襲性肺炎球菌感染症 1件(80歳代、男性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
		今週(増減)	先週
順位	疾病名		
1位	インフルエンザ	21.73 (↑)	15.71
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5.59 (↑)	3.59
3位	咽頭結膜熱	4.93 (↓)	5.41
4位	感染性胃腸炎	4.10 (↓)	5.69
5位	COVID-19	2.65 (↓)	2.71
6位	手足口病	0.59 (↓)	1.31



○感染症発生動向調査報告状況（令和5年第47週 令和5年11月20日～令和5年11月26日）

分類	疾患	今週報告分（第47週）						累積報告数（令和5年第1週（1月2日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核				1	1	5	6	24	7	62	104		
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			1	1	2	1		4	3	17	25		
	四類感染症	オウム病									1		1		
		つつが虫病										1	1		
		日本紅斑熱										1	1		
		レジオネラ症			2		1	3	4	1	18	1	12	36	
	五類感染症	アメーバ赤痢											2	2	
		ウイルス性肝炎									1			1	
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症					1	1			11	2	14	27	
		急性脳炎										1	2	3	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									6	1	6	13	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									2	2	8	12	
		侵襲性肺炎球菌感染症			1			1			2	6	3	13	24
		水痘（入院例）									1		1	4	6
		梅毒									3	3	14	20	
播種性クリプトコックス症								1					1		
破傷風										1			1		
百日咳											4	4			
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	47	70	362	125	439	1,043	1,027	1,578	4,667	1,610	6,104	14,986	
		COVID-19（※1）	6.71	14.00	27.85	17.86	27.44	21.73							
		29	4	44	14	36	127	1,864	1,131	3,232	1,591	2,932	10,750		
		4.14	0.80	3.38	2.00	2.25	2.65								
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症		1		2	1	1	5	84	121	657	260	593	1,715
				0.25		0.25	0.25	0.10	0.17						
		咽頭結膜熱		13	2	76	2	50	143	123	58	796	50	424	1,451
				3.25	0.67	9.50	0.50	5.00	4.93						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	12	44	15	88	162	92	56	1,253	58	1,203	2,662
				0.75	4.00	5.50	3.75	8.80	5.59						
		感染性胃腸炎		17	8	21	9	64	119	901	837	1,428	980	4,912	9,058
				4.25	2.67	2.63	2.25	6.40	4.10						
		水痘						1	1	4	22	47	6	59	138
								0.10	0.03						
		手足口病			3	6	2	6	17	64	116	521	208	368	1,277
				1.00	0.75	0.50	0.60	0.59							
	伝染性紅斑								1		2		6	9	
	突発性発しん			1	3			4	15	33	125	31	88	292	
			0.33	0.38			0.14								
ヘルパンギーナ		2		3		1	6	128	143	821	104	581	1,777		
		0.50		0.38		0.10	0.21								
流行性耳下腺炎				1	1		2	1	2	12	6	16	37		
				0.13	0.25		0.07								
眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎				1	3	4	7	2	36	4	12	61		
					1.00	1.50	0.57								
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎										2	1	3		
	無菌性髄膜炎											2	2		
	マイコプラズマ肺炎									8			8		
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）										5		5		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）			1	2	2	5	1	2	8	6	8	25		
		COVID-19による入院患者（※3）	1	2	1		14	18	16	42	12	30	90	190	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 COVID-19は令和5年第19週（5月8日）～の集計です。
 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週（9月5日）～の集計です。 ※3 COVID-19による入院患者累計報告数は、令和5年第39週（9月25日）～の集計です。

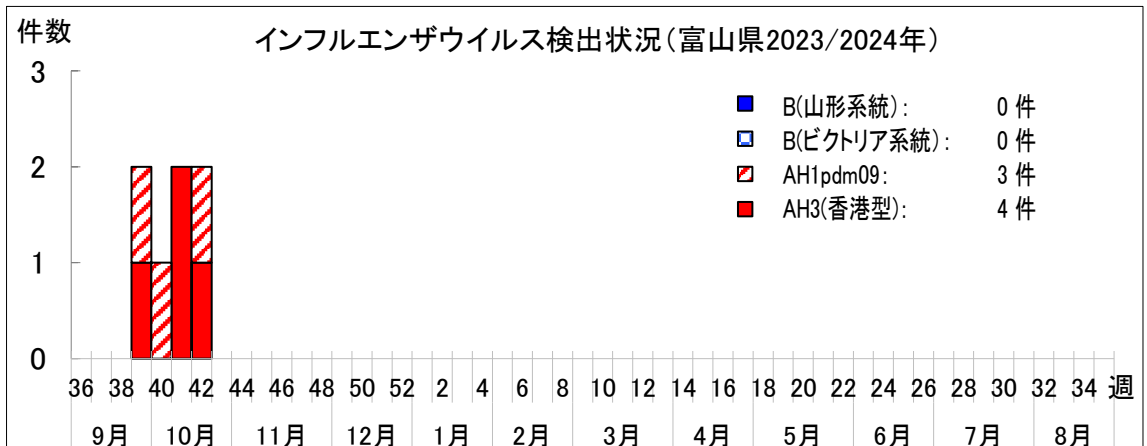
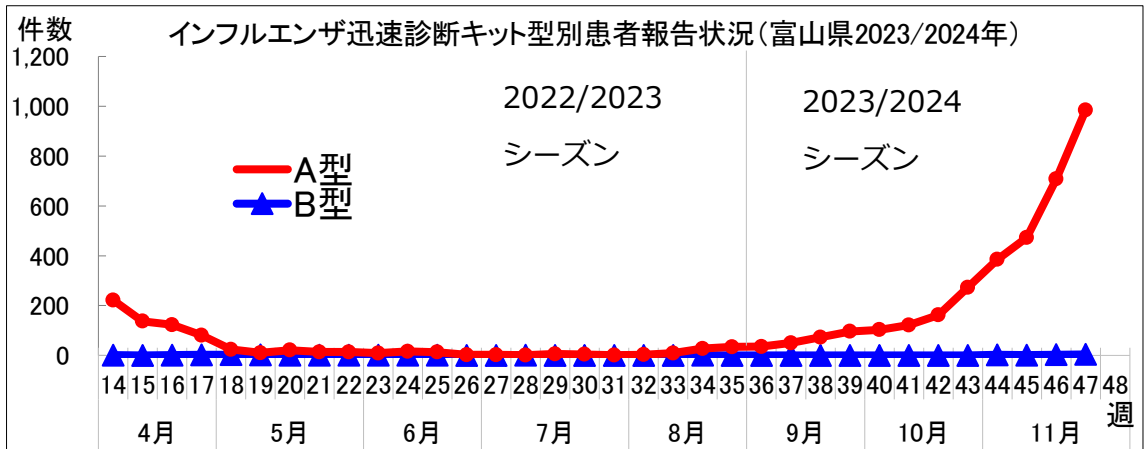
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が94.4%となっています。

第47週(11/20~11/26)：富山県 21.73人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	6 / 7	47	0	0	47
中部	5 / 5	65	0	5	70
高岡	13 / 13	338	0	24	362
砺波	7 / 7	123	0	2	125
富山市	16 / 16	412	4	23	439
富山県	47 / 48 ^{※1}	985	4	54	1,043
富山県累計(2023年36週~)		3,465	10	153	3,628

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が47か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



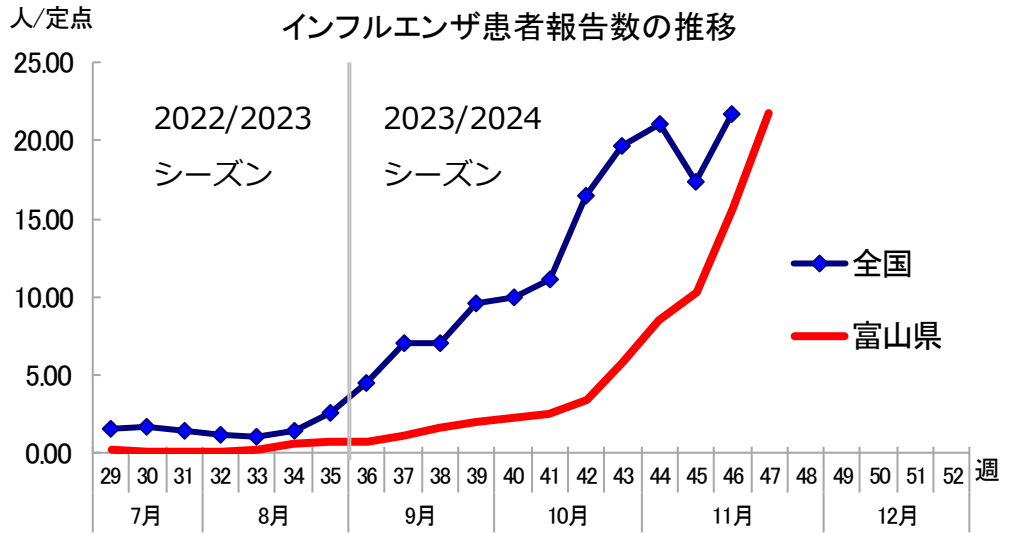


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 47 週 (11/20~11/26) : 富山県 21.73 人/定点

新川 HC (6.71)、中部 HC (14.00)、高岡 HC (27.85)、砺波 HC (17.86)、富山市 HC (27.44)

県内の患者報告数は増加が継続し、今週 21.73 人/定点となりました。注意報レベルとなる 10 人/定点を超え、更なる感染拡大が懸念されます。

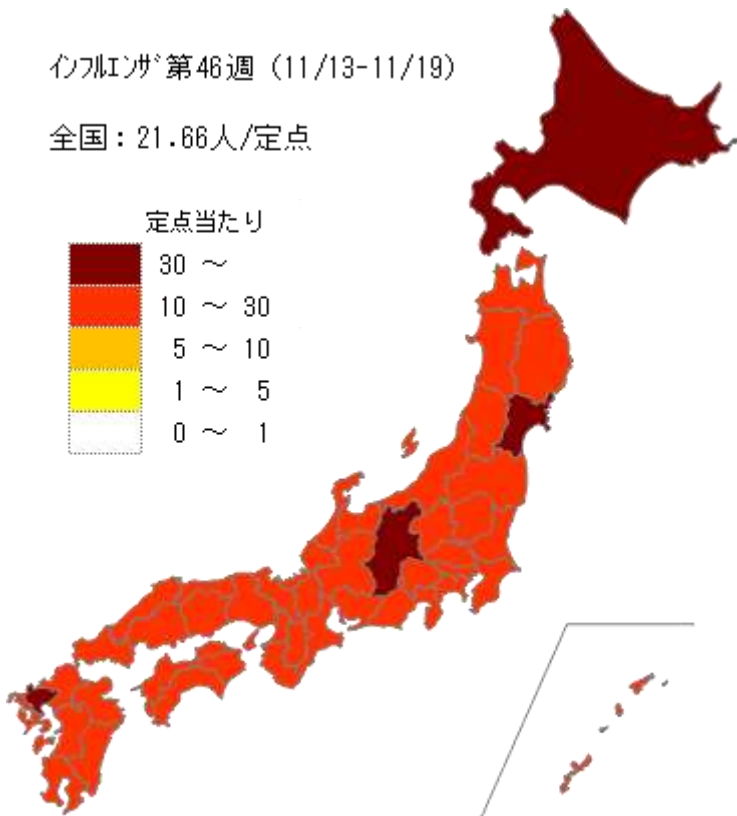


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 46 週 (11/13~11/19)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 21.66 人となり、前週の 17.35 人より増加しました。43 都道府県で前週より増加しています。

インフルエンザ 第46週 (11/13-11/19)

全国：21.66人/定点



都道府県	人/定点	変化	都道府県	人/定点	変化
北海道	39.21	↑	滋賀県	12.45	↑
青森県	14.53	↑	京都府	13.87	↑
岩手県	23.38	↑	大阪府	15.65	↑
宮城県	31.86	↑	兵庫県	17.69	↑
秋田県	14.69	↑	奈良県	21.96	↑
山形県	28.77	↑	和歌山県	17.88	↑
福島県	28.35	↑	鳥取県	28.59	↑
茨城県	17.49	↑	島根県	22.61	↑
栃木県	21.55	↑	岡山県	24.46	↑
群馬県	24.15	↑	広島県	23.73	↑
埼玉県	21.71	↓	山口県	25.64	↑
千葉県	21.84	↑	徳島県	21.65	↑
東京都	12.25	↑	香川県	22.40	↑
神奈川県	14.64	↑	愛媛県	17.39	↑
新潟県	19.78	↑	高知県	21.34	↓
富山県	15.71	↑	福岡県	27.56	↑
石川県	18.65	↑	佐賀県	47.26	↑
福井県	11.54	↑	長崎県	28.23	↑
山梨県	24.93	↓	熊本県	27.20	↑
長野県	35.59	↑	大分県	25.38	↑
岐阜県	21.39	↑	宮崎県	21.16	↑
静岡県	21.98	↑	鹿児島県	26.73	↑
愛知県	28.88	↑	沖縄県	11.83	↓
三重県	24.58	↑	全国	21.66	↑